

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 25 年 4 月 25 日 (2013.4.25)

【公表番号】特表 2012-519364 (P2012-519364A)

【公表日】平成 24 年 8 月 23 日 (2012.8.23)

【年通号数】公開・登録公報 2012-033

【出願番号】特願 2011-552400 (P2011-552400)

【国際特許分類】

H 0 5 B 6/02 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 6/02 A

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 2 月 27 日 (2013.2.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 2】

加えて、装置 2 0 0 は、有利には、（軸 1 0 4 の方向において）本質的にステーター 1 0 2 に向かって面する側と反対側で、ローター 1 0 1 の磁石 1 0 3、1 0 3 a、1 0 3 b の磁気回路を磁氣的に短絡させるための短絡手段 2 0 1（例えば、図 5 及び図 8）を含んでいる。短絡手段 2 0 1 は、有利には、鉄（Fe）又は磁性鋼のような、軟らかい磁性（軟磁性）材料を含んでいる。短絡手段 2 0 1 は、磁石 1 0 3 の磁場を物体 1 0 の側で強めることにより、物体 1 0 内に渦電流を誘導する誘導磁場がより一層効果的になるという利点をもたらす。加えて、短絡手段 2 0 1 はまた、ローター 1 0 1 の機械的な強度を高める。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 9】

請求項 4 及び / 又は 8 のいずれかの装置において、軟磁性材料を含む手段が、本質的に前記ステーターに向かって面する側と反対の側にて前記ローターの前記磁石の磁気回路を磁氣的にショートさせるために使用される、装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 6】

請求項 2 1 の構成において、前記構成は、誘導加熱手段のステーターのための電力を供給するためのドライバー構成を備え、前記誘導加熱手段は、前記ステーター及びローターを含み、前記ローターの回転は、前記ステーターによって提供される変化する磁場によって誘導され、前記ローターは、物体を誘導的に加熱するために少なくとも 1 つの磁石を回転させるように配置されており、

前記ドライバー構成は、

前記ステーターによって提供された前記変化する磁場を介して前記ローターの回転を開始し及び加速するための可変周波数駆動部及び／又は直接オンラインスターターと、

前記ローターの回転を加速した後、及び、有利には、加熱すべき前記物体を前記変化する磁場下に導入し且つ前記ローターによって回転される前記少なくとも１つの磁石によって誘導加熱が提供される前に、前記ステーターを電子的に電気ネットワークに接続するためのスイッチング手段と、を含む、構成。

【手続補正４】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項３６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項３６】

請求項３１及び／又は３５のいずれかの方法において、軟磁性材料を含む手段によって、本質的に前記ステーターに向かって面する側と反対の側にて、前記ローターの前記磁石の磁気回路を有利に磁氣的にショートさせる、方法。